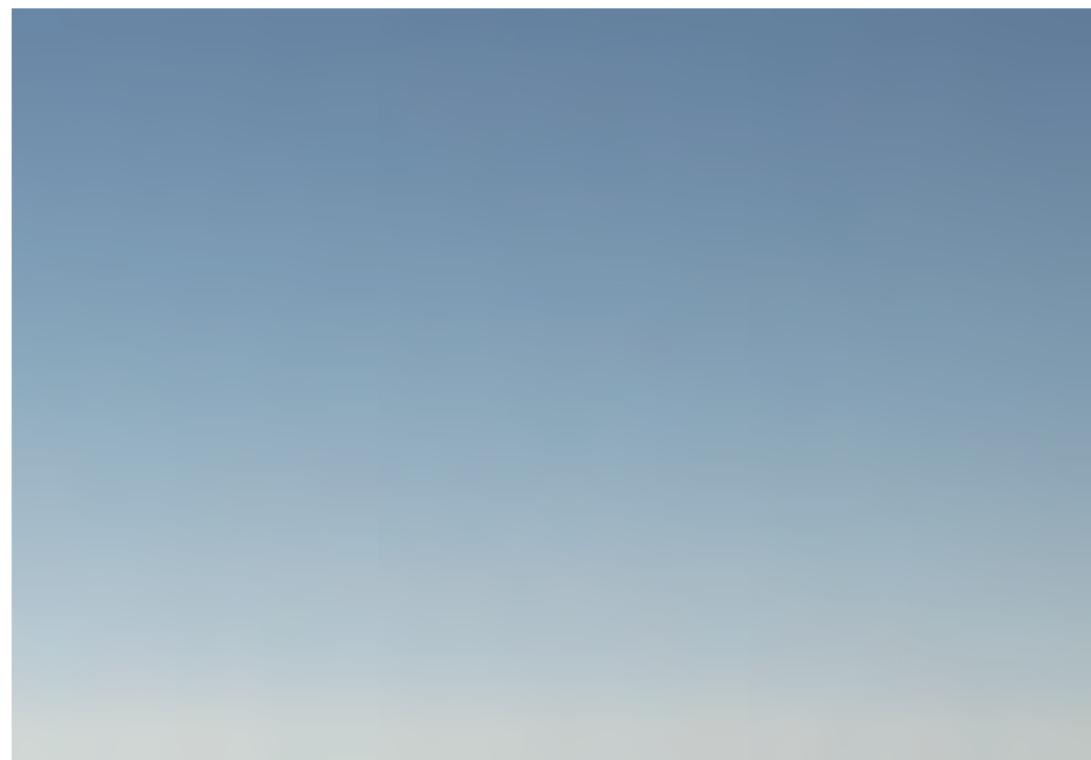


# 名古屋文化再生

## ～ウォーターフロントによる街づくり構想～





Ⓐ ユニバーサルデザインを意識した名古屋駅からのスロープアプローチ



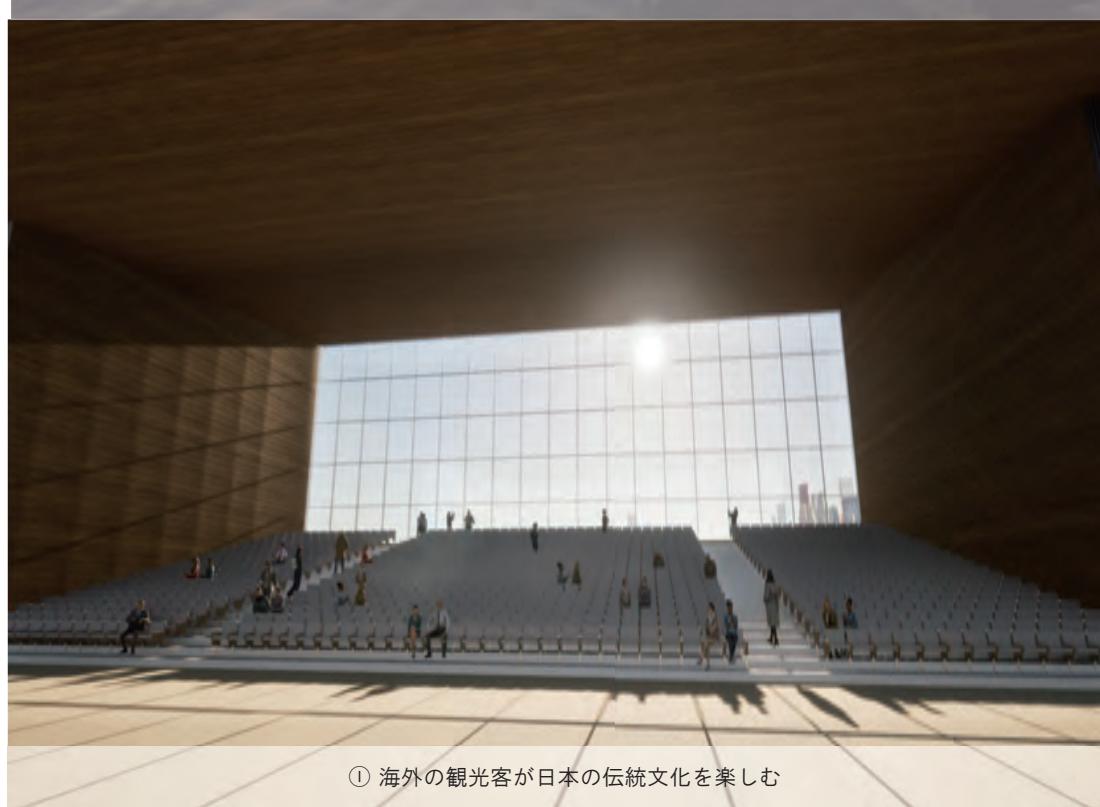
Ⓑ 雄大な景色を背景に世界の音楽を楽しむ



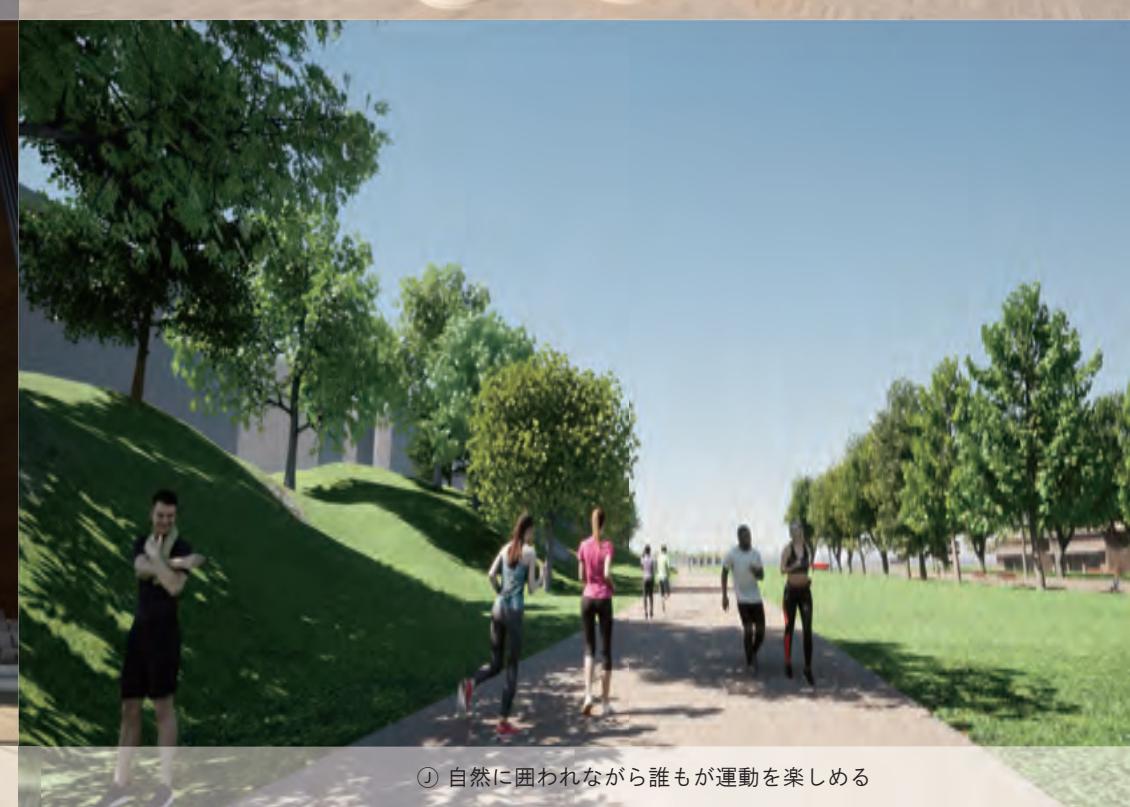
④ 感動的な夕日を体感



⑤ 誰でも利用できるフリーステージ



① 海外の観光客が日本の伝統文化を楽しむ



② 自然に囲われながら誰もが運動を楽しめる



# 設計提案

## 計画対象エリア



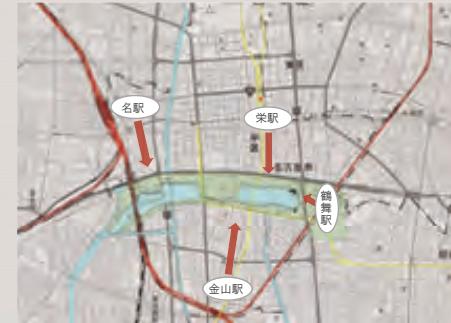
①～⑤の提案ゾーンの基本構想を示し、②については各施設の設計を行う。



## ②ウォーターフロント提案



アクセスダイアグラム



### 計画コンセプト



## ①南北ストリートパーク(久屋大通公園)

現状



改善



## ③④⑤中川運河・堀川・新堀川エリア

現状



改善



川から200m圏内の建物を低層にすることで、「海の見える景観の確保」海からの水を取り入れ都市部の温度を下げることで「ヒートアイランド現象」の防止に繋げる



# 研究

## 【背景・着眼点】

「名古屋=魅力がない」というイメージが全国的に定着しつつある。そこで、名古屋の文化に欠かせないシンボルとして、多くの観光客を引き寄せるような名古屋の街づくりをしたいと考える。

## 【研究目的】

尾張城下町時代の自然に囲まれ、人間スケールの魅力ある都市を把握し、この長所を現代の都市再開発に活かし都市再生を行う。

## 【研究方法】

### 文献調査

現在の名古屋の街並みと江戸時代の城下町の問題点と長所を比較する

調査1. 現在の名古屋の街の基盤の形成に関わる歴史の把握 (参考文献：<http://network2010.org/edomap>)

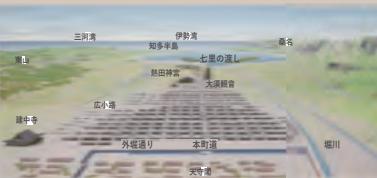
調査2. 尾張名所図絵から城下町と現在の街並み・人間の目線と動線・自然との繋がりを比較

## 調査1

### 歴史の把握 「江戸から明治の歴史」



名古屋城から見た江戸時代の城下町



現在の名古屋城から見た南の都市環境



尾張城下町の天守閣からは城下の武家屋敷、町人街、大須、熱田、七里の渡しまでが見通せ、人々の暮らし・賑わいが見えるアリティある感動的なヒューマンスケールの街が存在していた。その一方で、現在の名古屋城の南側は高層ビルが連立し、街の風景、その先にある海が見えないというビジネス優先の街並みとなってしまった。

### 七里の渡しの変化



## 調査2

### 尾張城下町図絵と現在の街並みを比較

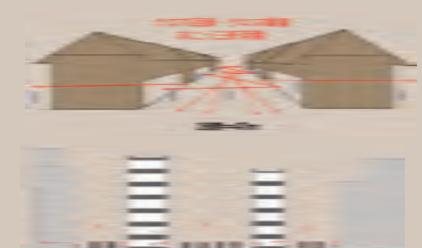


## 結果・考察

### 城下町の長所

- 山、海、川、街が繋がっている  
(城下町が一日で歩き管理することが出来た・低層の建物・道路がないことにより)
- 人と人の交流が盛ん
- 周囲を五感で感じることが出来る
- 屋外・半屋外・屋内・半屋内が有機的、人間的に繋がっている

### 人間スケールの街並み



近代化により建物を自由に行き交うことが困難になり街が分断されてしまった。



尾張城下町の堀川

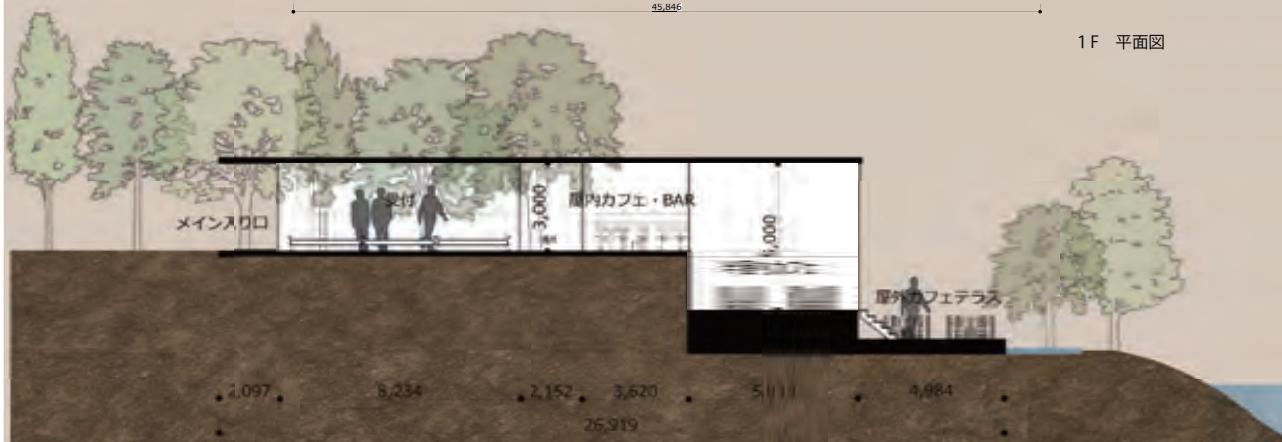
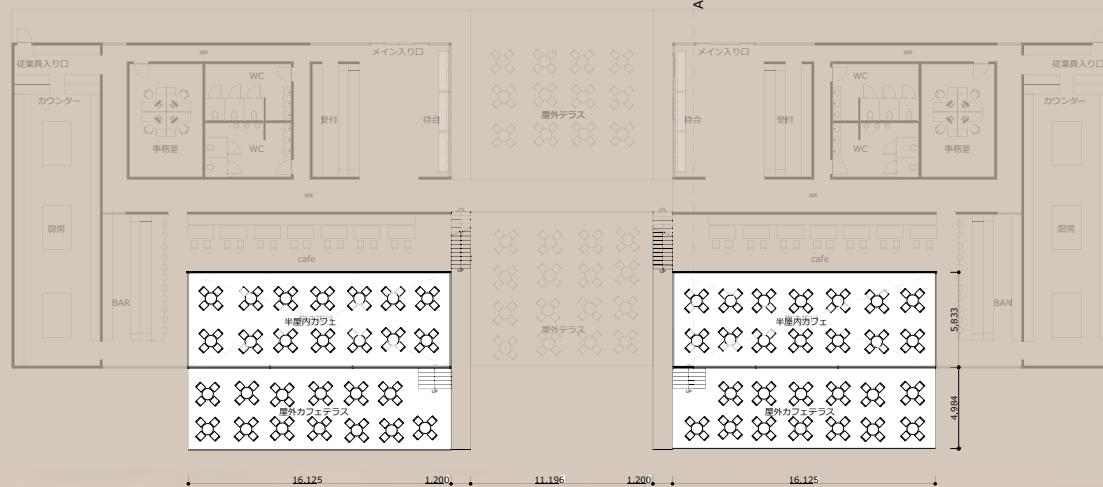
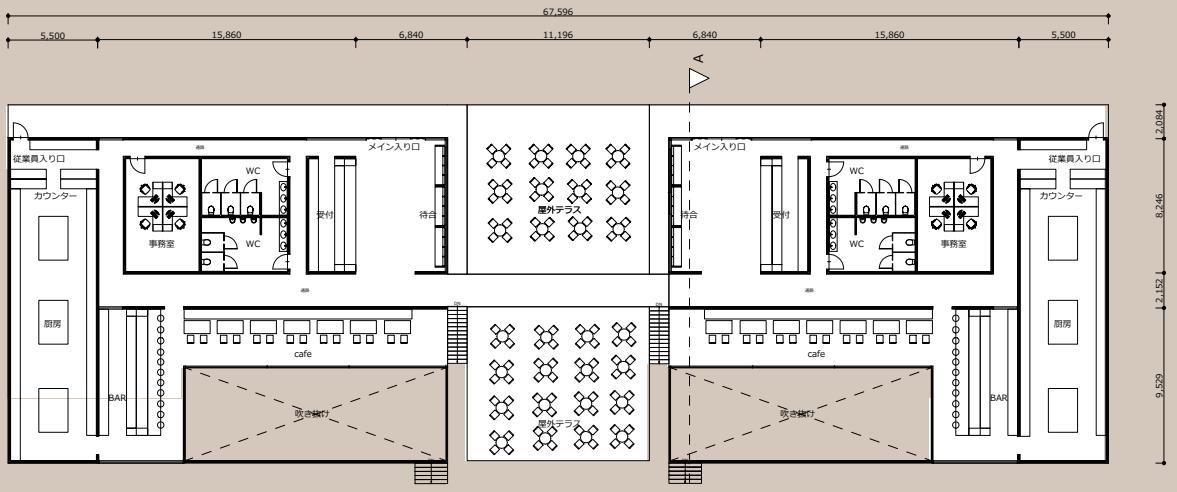


現在の堀川

### 【現在の名古屋の街に取り入れるべき要素】

- ①クロス目線、クロス動線がうまれる
- ②常に生活の近くにあった自然の体感性
- ③水辺に栄える娯楽、賑わい、宿
- ④人と人の盛んな交流・繋がり
- ⑤屋外、半屋外、半屋内、屋内が有機的に繋がっている
- ⑥感動・生命研が芽生える場所の生成

# D OPEN CAFE



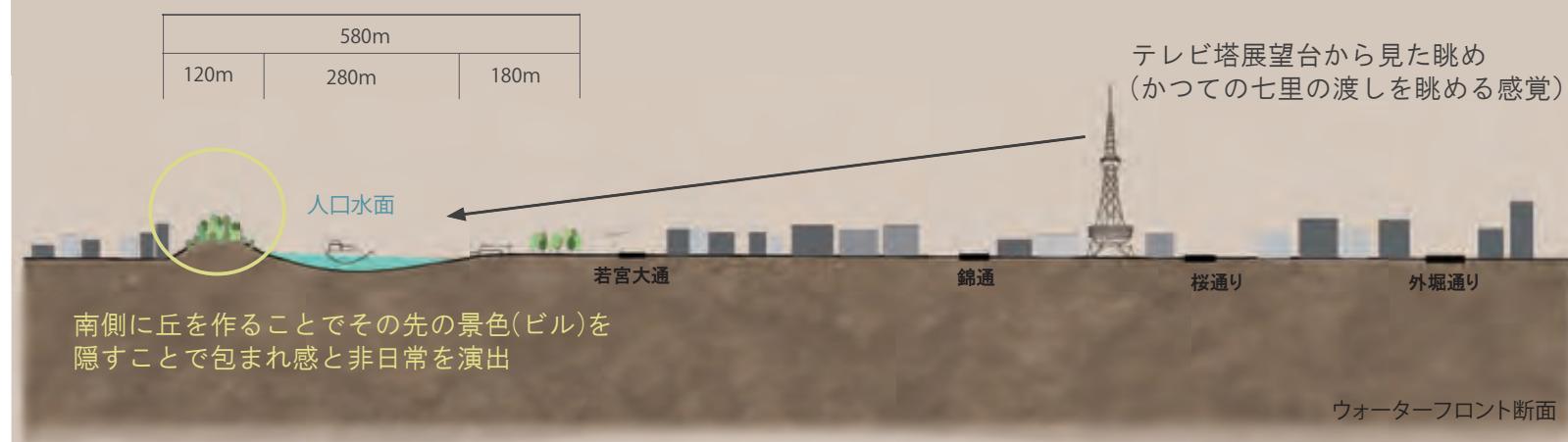


A

B

C

D

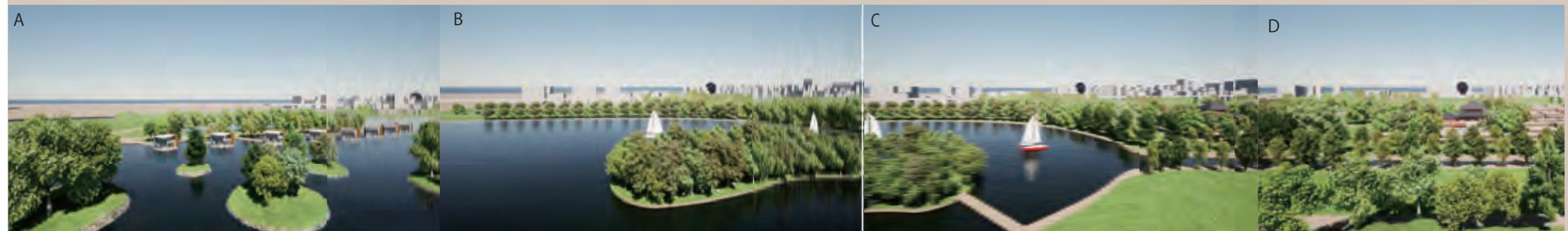


## 感動エリア

- 船着きコテージ
- ART SCENE HA LL
- ・五感で体感
- ・心と体のリセット
- ・心に栄養をつける

## 賑わ

- 大須観
- 大須商
- レスト
- 水辺広
- ・名古
- ・人と
- ・名古
- る





E

F

G

いエリア	くつろぎエリア	水辺の憩いエリア	交流エリア	文化エリア
音 店街 ラン・カフェ 場 屋文化の体感 人の交流 屋名物を堪能でき	丘 広場 木陰のミニステージ 野外映画館 ・ジョギング ・憩いの場 ・思い思いに過ごす	親水領域 ・水と水のふれあい ・ジョギング ・サイクリング ・都市部の大きな生物の家 ・憩いの場	音楽ホール カフェ レストラン ホテル ・思い思いに過ごす ・観光客と県民市民の交流 ・世界各国の文化の交流	広場 劇場 水上美術館 図書館(鶴舞公園) 公会堂(鶴舞公園) ・学びを得る

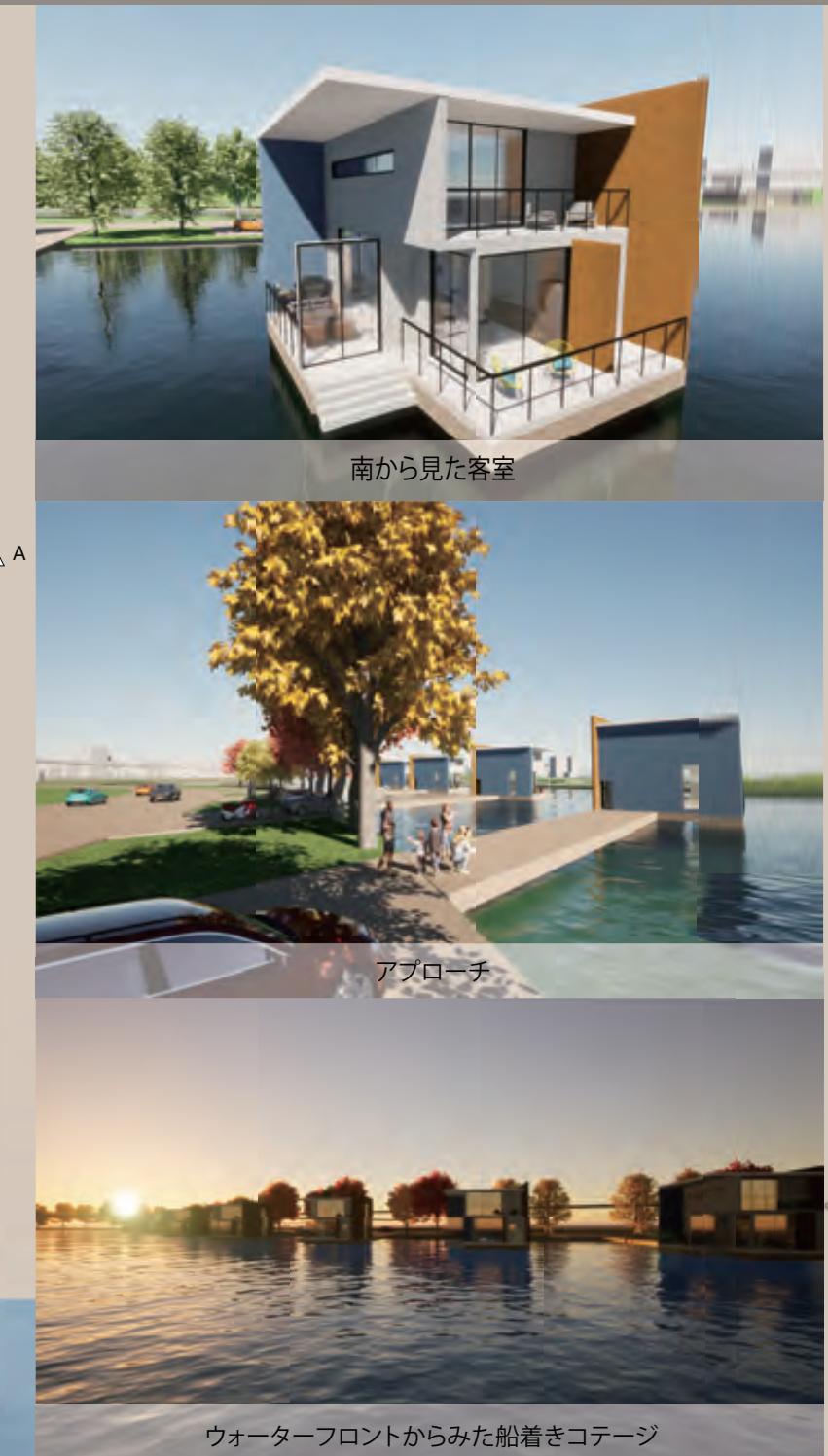
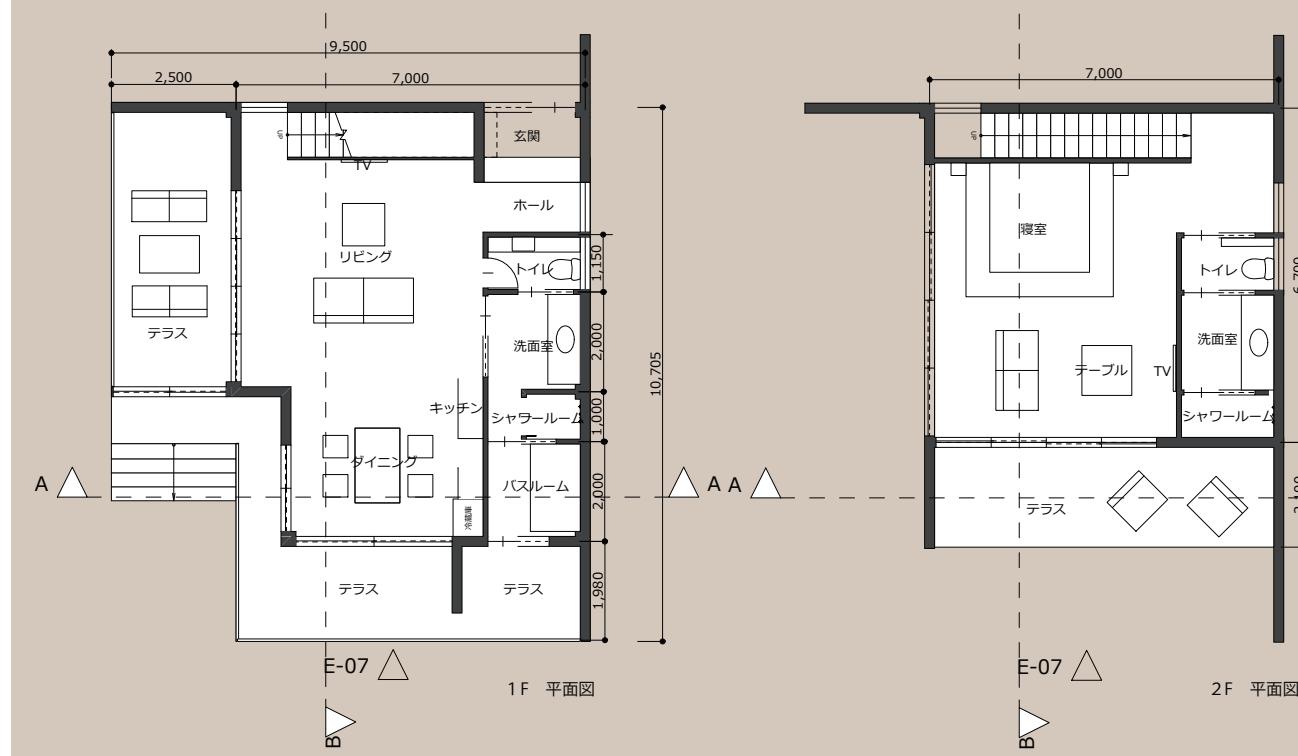
E

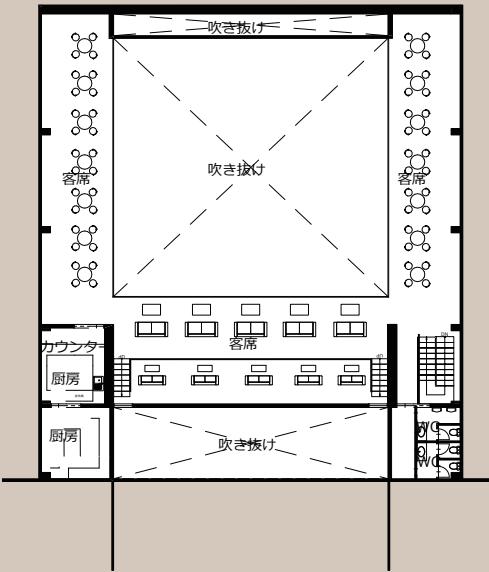
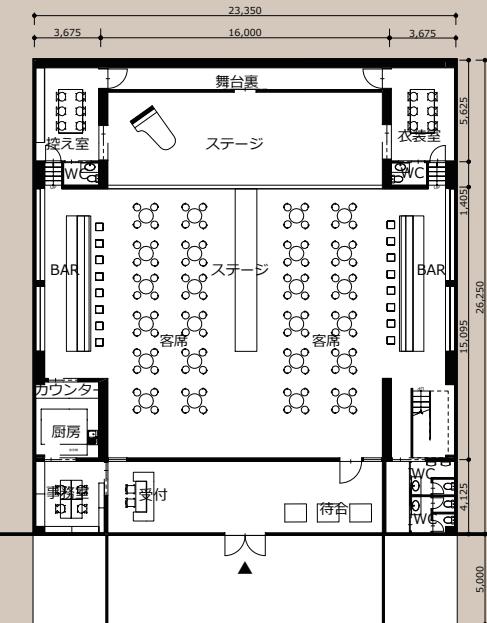
F

G

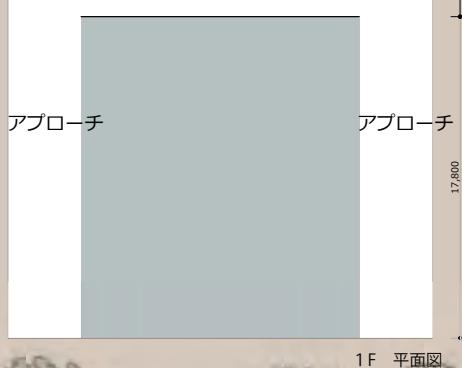


# ⑧ 船着きコテージ

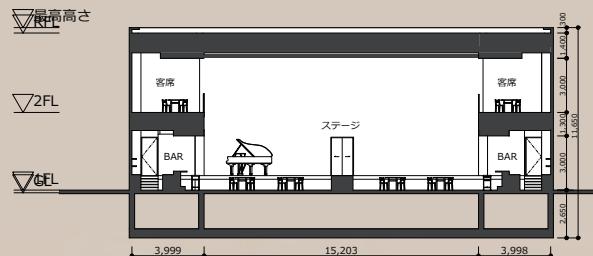




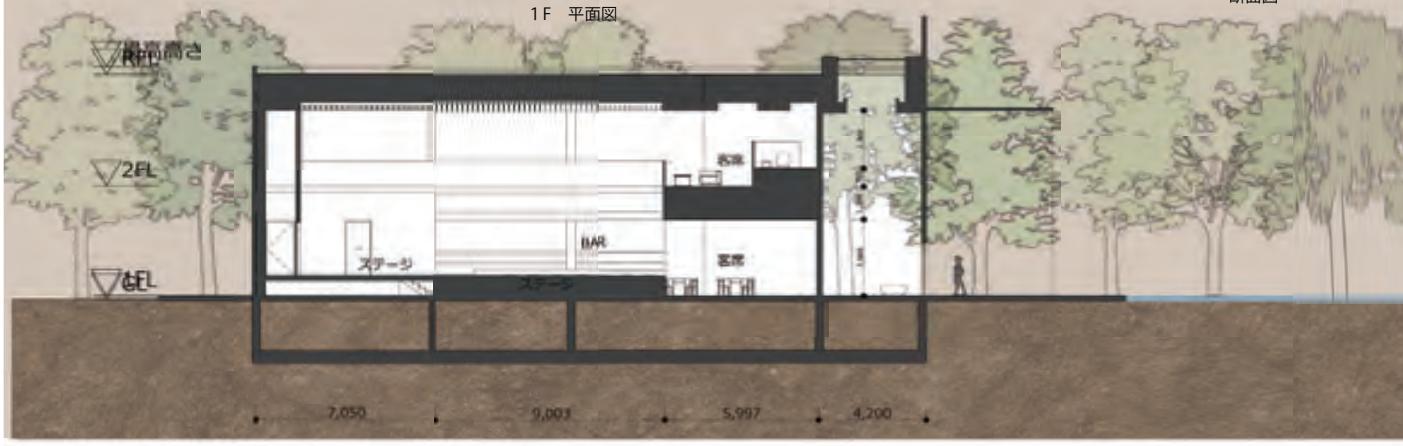
2F 平面図



1F 平面図



断面図



バー カウンターの様子



1Fと2Fの目線の交差



ウォーターフロントと水面のつながり